

科目名 看護の統合と実践実習	授業担当者 近江 薫	所属 中通高等看護学院
開講時期 : 中期	単位数 : 4 単位	時間数 : 160 時間
授業の目的 医療・看護チームの一員として看護を実践できる能力を養う。		
授業の概要 本実習は、これまでの専門分野・統合分野の知識・技術を統合して実務に即した実習を行い、看護管理とチームでの看護の仕事学ぶ実習である。看護管理、チームで協働する看護、複数患者受け持ち、夜間実習といった看護活動の見学・実践を通し、臨床実践の中で必要となる基礎的な知識と技術を総合的に体験できる機会となる。患者ケアに優先順位をつけることの大変さや大切さを体験し、またスタッフ同士の情報共有の重要性を学ぶことができる。受け持ち患者中心の実習を終え、間もなく看護師として働く者として、看護のさまざまな業務場面を身近にしなが、自分自身が行動レベルで看護実践力を育む機会としてほしい。		
受講上の注意・事前学習の内容 注意点・事前学習の内容は、実習要綱・実習ガイダンスを参照してください。 間もなく新人看護師になる皆さんが、看護場面を身近なこととして捉え、実習での学びを通し自己のキャリアビジョンを明確に描き専門職業人となる展望が持てるような実習となることを期待します。		
授業計画 1. グループを 3 班に分け、複数患者受け持ち、看護管理・夜間実習・多職種連携等をローテートする。 2. 看護師長・リーダー看護師・メンバー看護師・夜勤看護師の業務の見学、多職種との連携場面の見学を通し、看護師の役割について学ぶ。 3. 患者を 2 名同時に受け持つ。患者ゴール(目標)を設定し、実践の中で援助の優先順位の決定や多重課題に対応できるようにする。 4. 受け持ち患者に必要なケアの実施、一人で実践可能なケアの拡大、メンバーの協力を得て実践可能なケア、今まで経験したケアの深化、経験項目を増やすなど看護技術の向上を図る。 5. 成長報告プレゼンテーションを通し自己の看護観を深め、専門職業人として従事することへの展望を持てるようにする。		
テキスト 系統看護学講座 専門 看護学概論 医学書院 系統看護学講座 専門 看護管理 医学書院 系統看護学講座 専門 医療安全 医学書院 系統看護学講座 専門 腎・泌尿器 医学書院		
参考書・指定図書		
評価の方法 看護の統合と実践実習ルーブリック評価表に沿って評価する。		

*この科目は実務経験のある教員による科目となります